

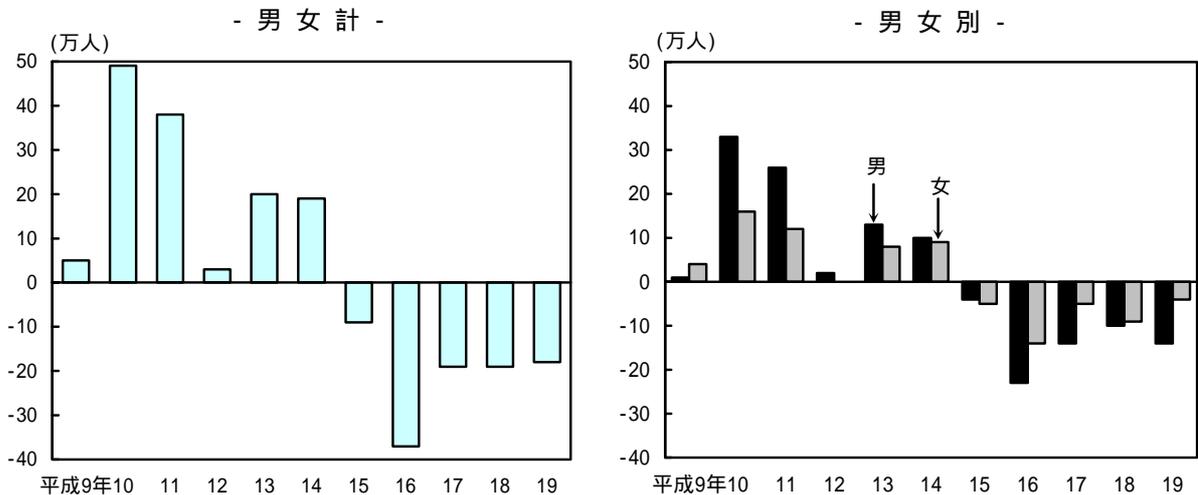
### 3 完全失業者

完全失業者は平成 19 年平均で 257 万人となり、前年に比べ 18 万人減少し、5 年連続の減少となった。

男女別にみると、男性は 154 万人と 14 万人減少し、5 年連続の減少となった。女性は 103 万人と 4 万人減少し、5 年連続の減少となった。

( 図 9 )

図 9 完全失業者の対前年増減の推移



### 完全失業率

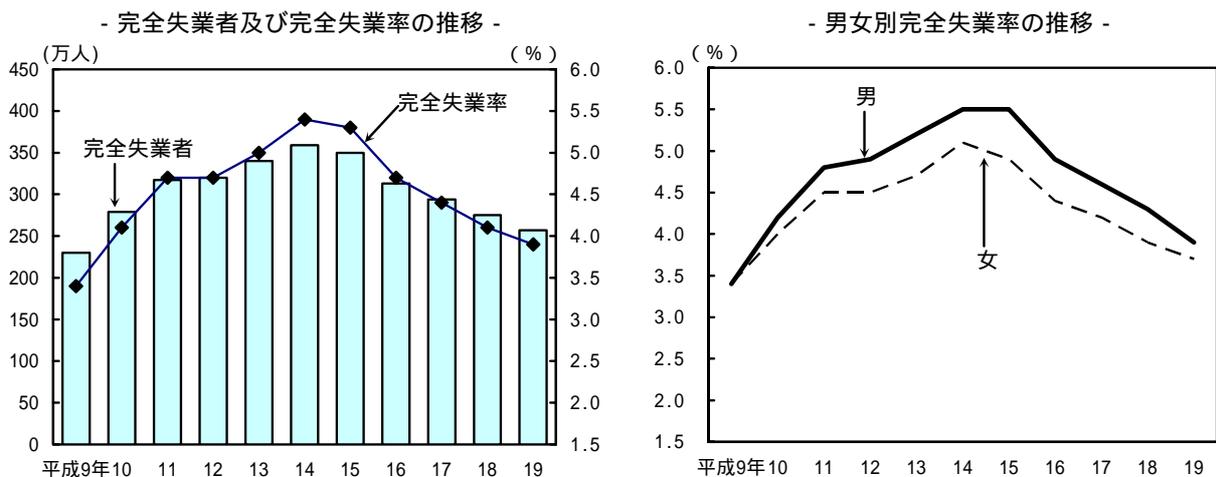
完全失業率（労働力人口に占める完全失業者の割合）は、平成 19 年平均で 3.9% となり、前年に比べ 0.2 ポイント低下し、5 年連続の低下となった。

男女別にみると、男性は 3.9% と 0.4 ポイント低下し、4 年連続の低下となった。女性は 3.7% と 0.2 ポイント低下し、5 年連続の低下となった。

なお、完全失業率は、平成 10 年以降 10 年連続で男性が女性を上回って推移している。

( 図 10 )

図 10 完全失業率の推移



(1) 年齢階級別完全失業率

男女別の完全失業率を年齢階級別にみると、平成19年平均で男女とも15~24歳が最も高く、男性は8.3%、女性は7.1%と依然として高水準で推移しているが、前年に比べそれぞれ0.5ポイント、0.1ポイント低下した。

(図11, 表6)

図11 年齢階級別完全失業率の推移

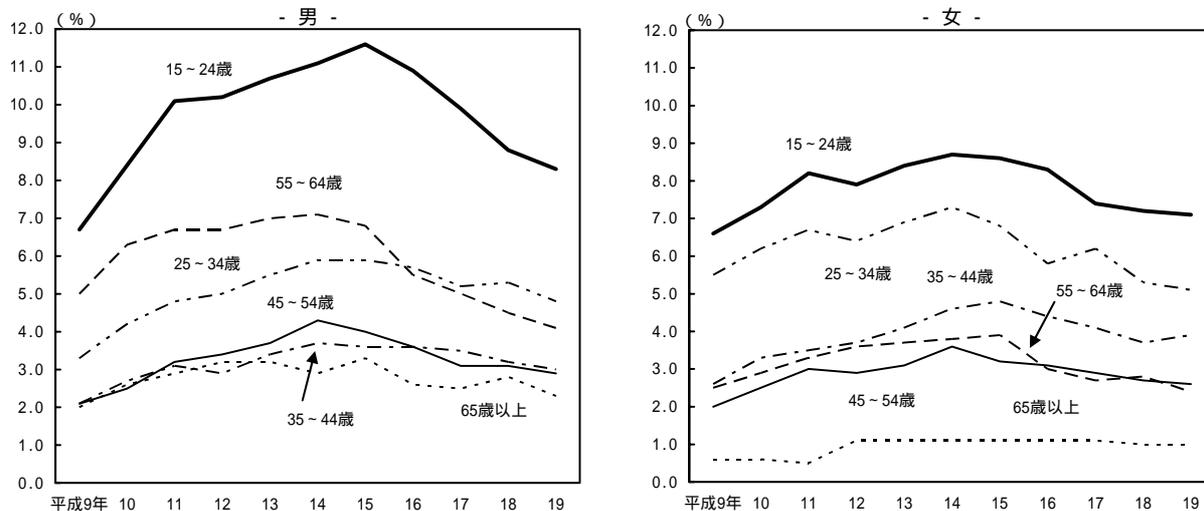


表6 年齢階級別完全失業率の推移

		完全失業率 (%)							対前年増減 (ポイント)							
		総数	15~24歳	25~34歳	35~44歳	45~54歳	55~64歳	65歳以上	総数	15~24歳	25~34歳	35~44歳	45~54歳	55~64歳	65歳以上	
男	平成9年	3.4	6.7	4.2	2.3	2.1	4.0	1.5	0.0	0.1	0.2	0.1	0.1	-0.2	0.0	
	10	4.1	7.7	4.9	3.0	2.5	5.0	2.1	0.7	1.0	0.7	0.7	0.4	1.0	0.6	
	11	4.7	9.1	5.5	3.3	3.1	5.4	2.2	0.6	1.4	0.6	0.3	0.6	0.4	0.1	
	12	4.7	9.1	5.6	3.2	3.3	5.5	2.2	0.0	0.0	0.1	-0.1	0.2	0.1	0.0	
	女	13	5.0	9.6	6.0	3.6	3.4	5.7	2.4	0.3	0.5	0.4	0.4	0.1	0.2	0.2
		14	5.4	9.9	6.4	4.1	4.0	5.9	2.3	0.4	0.3	0.4	0.5	0.6	0.2	-0.1
		15	5.3	10.1	6.3	4.1	3.7	5.6	2.5	-0.1	0.2	-0.1	0.0	-0.3	-0.3	0.2
		16	4.7	9.5	5.7	3.9	3.4	4.5	2.0	-0.6	-0.6	-0.6	-0.2	-0.3	-1.1	-0.5
		17	4.4	8.7	5.6	3.8	3.0	4.1	2.0	-0.3	-0.8	-0.1	-0.1	-0.4	-0.4	0.0
		18	4.1	8.0	5.2	3.4	2.9	3.9	2.1	-0.3	-0.7	-0.4	-0.4	-0.1	-0.2	0.1
19		3.9	7.7	4.9	3.4	2.8	3.4	1.8	-0.2	-0.3	-0.3	0.0	-0.1	-0.5	-0.3	
男	平成9年	3.4	6.7	3.3	2.1	2.1	5.0	2.0	0.0	-0.1	0.0	0.0	0.1	-0.1	-0.1	
	10	4.2	8.4	4.2	2.7	2.5	6.3	2.6	0.8	1.7	0.9	0.6	0.4	1.3	0.6	
	11	4.8	10.1	4.8	3.1	3.2	6.7	2.9	0.6	1.7	0.6	0.4	0.7	0.4	0.3	
	12	4.9	10.2	5.0	2.9	3.4	6.7	3.2	0.1	0.1	0.2	-0.2	0.2	0.0	0.3	
	13	5.2	10.7	5.5	3.4	3.7	7.0	3.2	0.3	0.5	0.5	0.5	0.3	0.3	0.0	
	14	5.5	11.1	5.9	3.7	4.3	7.1	2.9	0.3	0.4	0.4	0.3	0.6	0.1	-0.3	
	15	5.5	11.6	5.9	3.6	4.0	6.8	3.3	0.0	0.5	0.0	-0.1	-0.3	-0.3	0.4	
	16	4.9	10.9	5.7	3.6	3.6	5.5	2.6	-0.6	-0.7	-0.2	0.0	-0.4	-1.3	-0.7	
	17	4.6	9.9	5.2	3.5	3.1	5.0	2.5	-0.3	-1.0	-0.5	-0.1	-0.5	-0.5	-0.1	
	18	4.3	8.8	5.3	3.2	3.1	4.5	2.8	-0.3	-1.1	0.1	-0.3	0.0	-0.5	0.3	
19	3.9	8.3	4.8	3.0	2.9	4.1	2.3	-0.4	-0.5	-0.5	-0.2	-0.2	-0.4	-0.5		
女	平成9年	3.4	6.6	5.5	2.6	2.0	2.5	0.6	0.1	0.2	0.3	0.2	0.1	-0.1	0.0	
	10	4.0	7.3	6.2	3.3	2.5	2.9	0.6	0.6	0.7	0.7	0.7	0.5	0.4	0.0	
	11	4.5	8.2	6.7	3.5	3.0	3.3	0.5	0.5	0.9	0.5	0.2	0.5	0.4	-0.1	
	12	4.5	7.9	6.4	3.7	2.9	3.6	1.1	0.0	-0.3	-0.3	0.2	-0.1	0.3	0.6	
	13	4.7	8.4	6.9	4.1	3.1	3.7	1.1	0.2	0.5	0.5	0.4	0.2	0.1	0.0	
	14	5.1	8.7	7.3	4.6	3.6	3.8	1.1	0.4	0.3	0.4	0.5	0.5	0.1	0.0	
	15	4.9	8.6	6.8	4.8	3.2	3.9	1.1	-0.2	-0.1	-0.5	0.2	-0.4	0.1	0.0	
	16	4.4	8.3	5.8	4.4	3.1	3.0	1.1	-0.5	-0.3	-1.0	-0.4	-0.1	-0.9	0.0	
	17	4.2	7.4	6.2	4.1	2.9	2.7	1.1	-0.2	-0.9	0.4	-0.3	-0.2	-0.3	0.0	
	18	3.9	7.2	5.3	3.7	2.7	2.8	1.0	-0.3	-0.2	-0.9	-0.4	-0.2	0.1	-0.1	
19	3.7	7.1	5.1	3.9	2.6	2.4	1.0	-0.2	-0.1	-0.2	0.2	-0.1	-0.4	0.0		

## (2) 世帯主との続き柄別完全失業者

完全失業率を世帯主との続き柄別にみると、世帯主は平成 19 年平均で 2.2%と前年に比べ 0.4 ポイントの低下、「世帯主の配偶者」が 2.3%と 0.2 ポイントの低下、「その他の家族」が 7.0%と 0.1 ポイントの低下、単身世帯が 4.9%と 0.4 ポイントの低下となった。

なお、世帯主の完全失業者は 9 万人減少し、5 年連続の減少となった。「その他の家族」の完全失業者は 4 万人減少し、4 年連続の減少となった。

( 図 12 , 図 13 )

図 12 世帯主との続き柄別  
完全失業率の推移

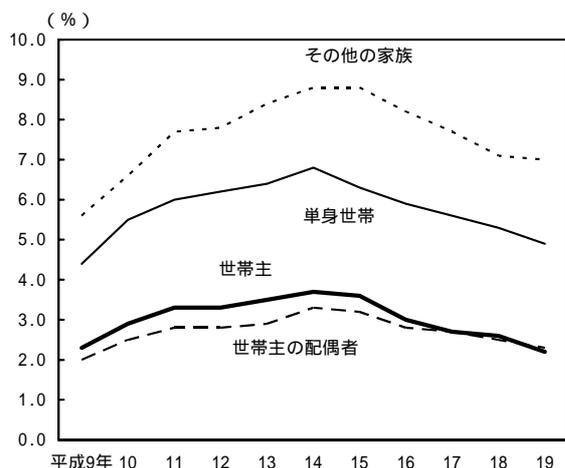
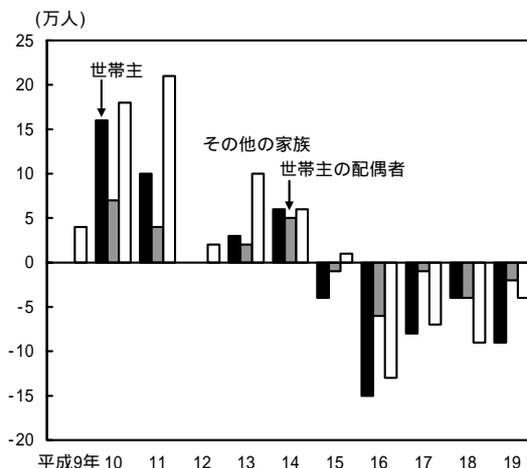


図 13 世帯主との続き柄別  
完全失業者の対前年増減の推移



## (3) 求職理由別完全失業者

完全失業者を求職理由別にみると、平成 19 年平均では

- ・「非自発的な離職による者」が 83 万人、このうち
    - 「定年又は雇用契約の満了」により前職を離職した者が 24 万人と前年に比べ 1 万人減少
    - 「勤め先や事業の都合」により前職を離職した者が 59 万人と 5 万人減少
  - ・「自発的な離職による者」(自分又は家族の都合により前職を離職)が 98 万人と 8 万人減少
  - ・「学卒未就職者」(学校を卒業して新たに仕事を探し始めた者)が 12 万人と 3 万人減少
  - ・「その他の者」が 60 万人、このうち
    - 「収入を得る必要が生じたから」新たに仕事を探し始めた者が 35 万人と 2 万人減少
    - 「その他」(時間に余裕ができた等)の理由で新たに仕事を探し始めた者が 25 万人と 1 万人減少
- となった。

( 表 7 )

表 7 求職理由別完全失業者の推移

( 万人 )

年	総数	非自発的な離職による者			自発的な離職による者	学卒未就職者	その他の者	その他の者	
		定年又は雇用契約の満了	勤め先や事業の都合	収入を得る必要が生じたから				その他	
平成 9年	230	54	-	-	95	12	59	-	-
10	279	85	-	-	101	15	68	-	-
11	317	102	-	-	109	17	77	-	-
12	320	102	-	-	109	18	80	-	-
13	340	106	-	-	118	17	85	-	-
14	359	151	36	115	115	18	70	40	30
15	350	146	38	108	113	20	69	42	27
16	313	118	32	86	106	18	68	42	27
17	294	100	28	72	110	16	65	39	26
18	275	88	25	64	106	15	63	37	26
19	257	83	24	59	98	12	60	35	25

注) 平成14年より求職理由の選択肢を変更し、細分化したため、それ以前との比較には注意を要する。